

絵手紙で優しさを メッセージで思いを みんなに届け!



JA児湯の黒田耕弘企画課長(左端)に絵手紙を手渡しました

7月16日に、事務局団体6名は尾鈴農協・児湯農協・西都農協に、激励の「絵手紙」と「口蹄疫110番ポスター」を届けてきました。絵手紙は新日本婦人の会・県本部あてに、全国の新婦人から届いたものです。

JA尾鈴では、「ありがとうございます。展示させていただきます」ところよく受け取って頂きました。



絵手紙に集まるJA職員

JA児湯では、総務部の黒田耕弘企画課長に対応して頂きました。黒田課長は、「ありがとうございます。さっそく、展示させていただきます。畜産農家だけではなく、地域全体が大変な状況になっています。地域再建に向けて今からです。」と話されました。ネットワークから「JA児湯は特措法の基金などありますが、どのように対応していきますか」とたずねると「今までは、防疫を中心にした対応をされていて、基金等については今からです。今日は、各農協の組合長が集まって会議を行っており、JA児湯独自の要望としてではなく、県中央会を中心にした再建に向けての行動をしていくと思います」と話されました。

JA西都では、杉田武彦常務理事さんに対応して頂きました。杉田常任理事は、「ありがとうございます。元気をいただきました」と話され、「JA西都は、殺処分された方・10~20km圏内の方・20km圏以外の3つの畜産農家があります。そのために、殺処分以外の畜産農家には、何の補償もないために不満の声が届いています。畜産農家すべてに対して補償をしてほしい」と話されました。ネットワークでは「畜産農家はもちろんですが、被害にあわれたすべての産業に補償を求める運動をしています」と訴えると「そうですね。地域が元気になってこそ、畜産農家も元気になります」と話されました。絵手紙とポスターは、JA西都の直売所とAコープに張って頂くことになりました。

どこの農協でも、絵手紙の絵と激励メッセージに感動されて、男性職員も女性職員も絵手紙の周りに集まっていました。

絵手紙を届ける事で、「ともに口蹄疫をたたかって、元気な宮崎を取り戻そう」というメッセージになったことが本当に良かったと思います。

全国から、絵手紙を送って頂いた新婦人のみなさんへ、感謝申し上げます。本当に、ありがとうございます。



口蹄疫対策県民ネットワーク(事務局)
〒880-0911 宮崎市大字田吉158番地
宮崎県農林組合連合会内
TEL0985-55-0399